

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和4年8月】

■調査概要（データ対象期間：令和4年8月1日～8月31日）

○調査期間：令和4年8月31日～令和4年9月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業17企業、卸売業12企業、小売業21企業

飲食業15企業、サービス業40企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計124企業>

○調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナスからプラスに転じ、水準DIはマイナス幅の縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲8.9)よりマイナス幅が9.7ポイント縮小し、0.8となった。業種別では、飲食業、サービス業はプラス幅が拡大した。製造業、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。

○全産業合計の水準DIは、前月(▲26.0)よりマイナス幅が1.8ポイント縮小し、▲24.2となった。業種別では、飲食業、建設業、サービス業はマイナス幅が縮小した。製造業、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大した。

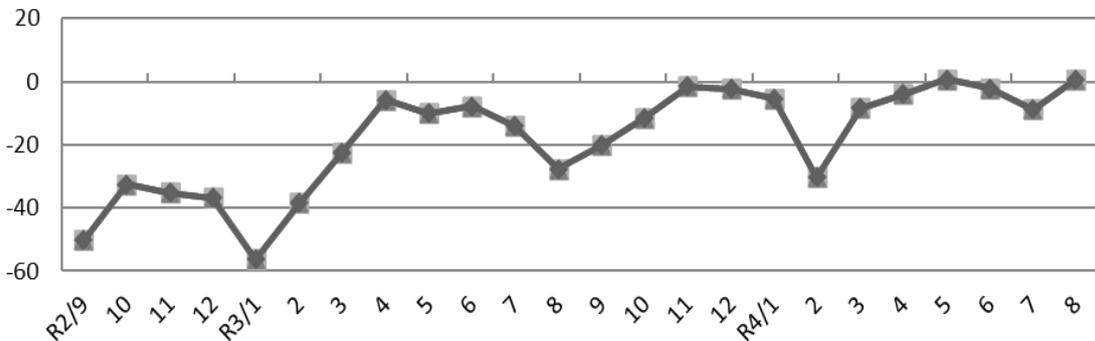
業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	21.8 (18.7)	57.2 (53.7)	21.0 (27.6)	▲0.8 (▲8.9) ↗	12.1 (12.2)	51.6 (49.6)	36.3 (38.2)	▲24.2 (▲26.0) ↗
建設業	5.3 (0.0)	78.9 (73.7)	15.8 (26.3)	▲10.5 (▲26.3) ↗	5.3 (0.0)	68.4 (73.7)	26.3 (26.3)	▲21.0 (▲26.3) ↗
製造業	17.6 (6.3)	58.9 (56.2)	23.5 (37.5)	▲5.9 (▲31.2) ↗	11.8 (12.5)	35.3 (37.5)	52.9 (50.0)	▲41.1 (▲37.5) ↘
卸売業	33.3 (27.3)	50.0 (27.2)	16.7 (45.5)	▲16.6 (▲18.2) ↗	16.7 (18.2)	41.6 (45.4)	41.7 (36.4)	▲25.0 (▲18.2) ↘
小売業	9.5 (22.2)	57.2 (50.0)	33.3 (27.8)	▲23.8 (▲5.6) ↘	14.3 (27.8)	42.8 (27.8)	42.9 (44.4)	▲28.6 (▲16.6) ↘
飲食業	40.0 (35.3)	46.7 (35.3)	13.3 (29.4)	▲26.7 (5.9) ↗	20.0 (11.8)	53.3 (41.1)	26.7 (47.1)	▲6.7 (▲35.3) ↗
サービス業	27.5 (21.4)	52.5 (59.6)	20.0 (19.0)	▲7.5 (2.4) ↗	10.0 (9.5)	57.5 (57.2)	32.5 (33.3)	▲22.5 (▲23.8) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

業況判断DI (全産業・前年同月比)の推移

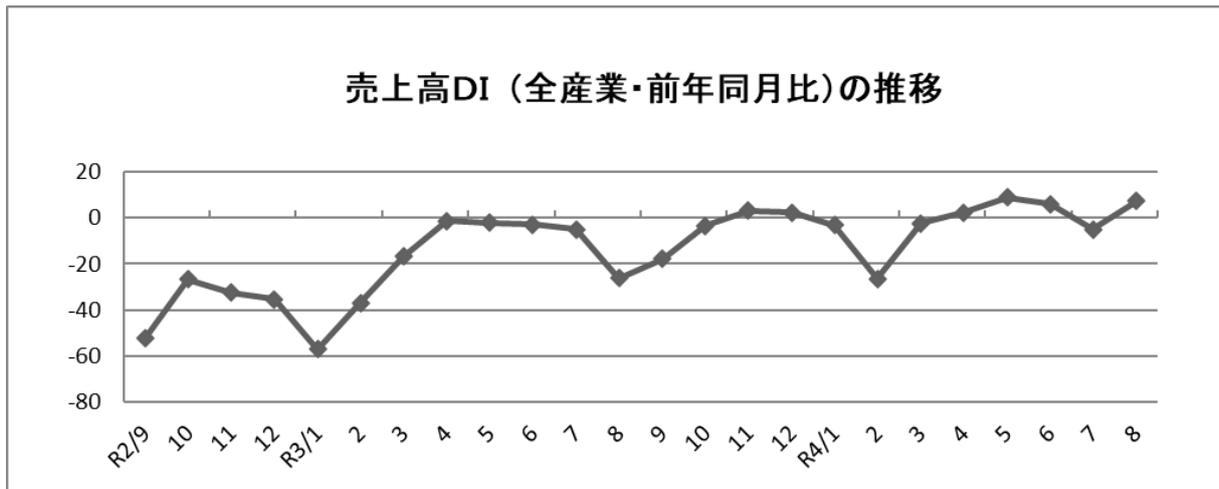


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲4.9）よりマイナス幅が12.1ポイント縮小して、7.2となった。業種別に見ると、飲食業、サービス業はプラス幅が拡大した。卸売業は0からプラスになり、小売業は0からマイナスになった。製造業はマイナスからプラスになり、建設業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲ 26.1	▲ 17.9	▲ 3.5	3.0	2.3	▲ 3.1	▲ 26.5	▲ 2.3	2.4	9.0	6.0	▲ 4.9	7.2
建 設 業	▲ 25.0	22.2	▲ 4.5	15.8	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 10.5
製 造 業	22.7	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 5.0	10.5	▲ 52.7	0.0	▲ 16.6	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5	5.9
卸 売 業	▲ 25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4
小 売 業	▲ 48.2	▲ 45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲ 28.0	4.2	4.5	26.1	▲ 3.9	0.0	▲ 9.5
飲 食 業	▲ 82.4	▲ 61.1	▲ 17.6	5.3	16.6	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4
サ-ビス業	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 7.1	▲ 2.5	0.0	▲ 12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5

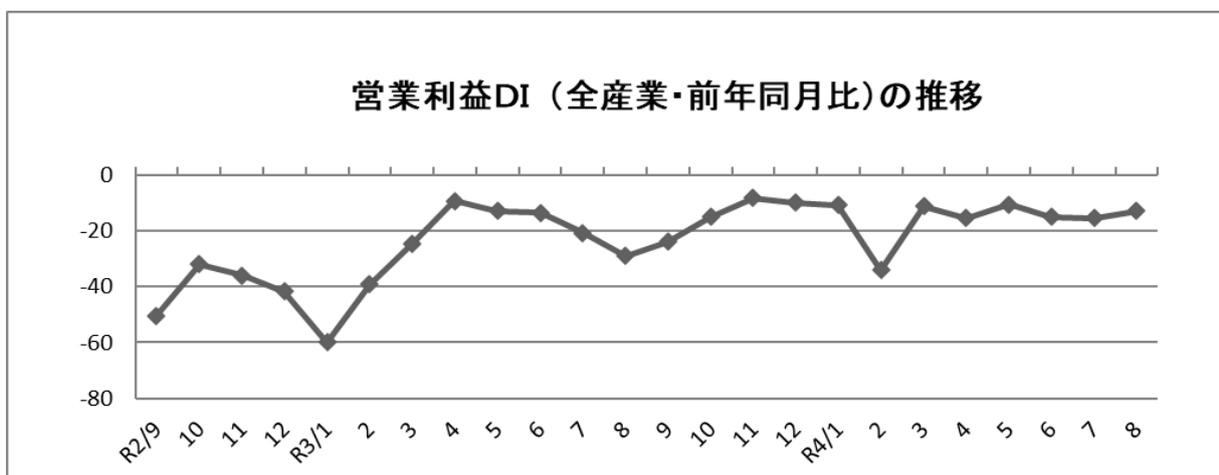


3. 営業利益DI（前年同月比）

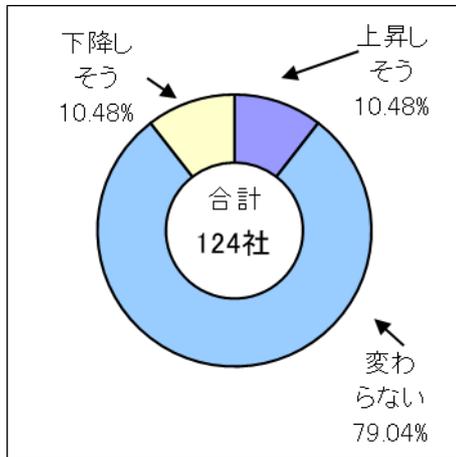
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲15.4）よりマイナス幅が2.5ポイント縮小して、▲12.9となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じ、サービス業はマイナスから0になった。建設業、製造業はマイナス幅が縮小し、飲食業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲ 29.0	▲ 23.9	▲ 15.0	▲ 8.3	▲ 10.0	▲ 10.8	▲ 34.1	▲ 11.3	▲ 15.4	▲ 10.6	▲ 15.0	▲ 15.4	▲ 12.9
建 設 業	▲ 30.0	5.6	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 31.6	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 21.0
製 造 業	4.5	▲ 4.5	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 35.0	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1	▲ 44.5	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 23.6
卸 売 業	▲ 16.7	0.0	7.7	▲ 9.1	0.0	30.0	0.0	▲ 7.7	27.3	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1	25.0
小 売 業	▲ 37.0	▲ 50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲ 16.0	4.1	0.0	8.7	▲ 23.1	▲ 27.8	▲ 42.9
飲 食 業	▲ 82.4	▲ 66.7	▲ 29.4	▲ 21.0	16.6	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.3
サ-ビス業	▲ 22.5	▲ 20.0	▲ 20.4	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 4.7	▲ 31.0	2.4	▲ 12.5	7.1	2.4	▲ 2.4	0.0



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

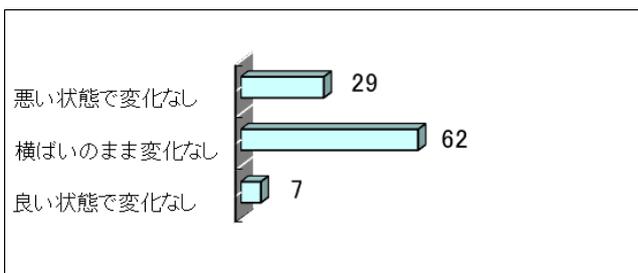


○令和4年9月～令和4年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.98ポイント上昇し10.48%、「下降しそう」が2.53ポイント縮小し10.48%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(5.8)、卸売業(▲16.7)、小売業(▲9.5)、飲食業(▲20.0)、サービス業(15.0)であった。

➡「上昇しそう」では「受注量が確保できているため」「客先の内示によるため」(製造業)「秋の紅葉、行楽シーズンで旅行客などの動きに期待しているため」(小売業)「コロナ禍でも経済が回ると思うため」「職業訓練応募者数が微増に転じたため」「全国旅行支援がスタートするのに加えて、インバウンドの増加に期待しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。また「新型コロナウイルス感染症がある程度落ち着きつつあるため」といった声が多数寄せられた。

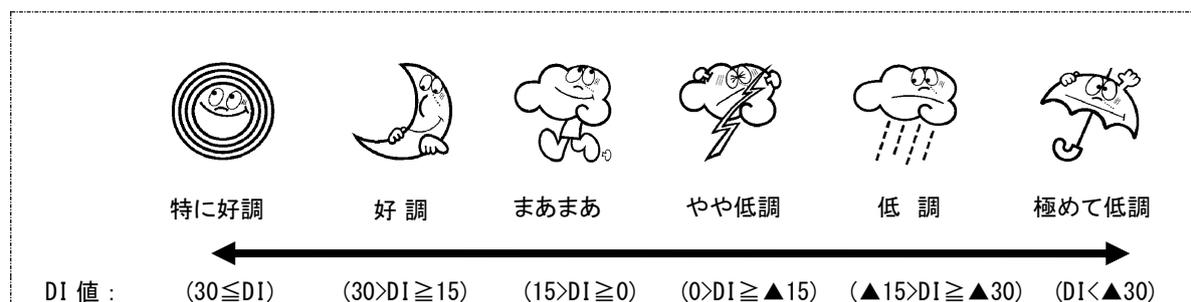
➡「変わらない」では「手持工事が多く新たな受注ができないため」(建設業)「材料高騰に対する価格転嫁が正しく進められないため」(製造業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「従業員が退職し、前年より戦力が少ないため」(製造業)「商品の入荷が遅れているため」「購買に対して慎重な姿勢を見せる客先が多くなったため」(卸売業)「観光客が減少しているため」「毎年この時期は売上が落ちているため」(飲食業)といった声が寄せられた。また「資材等の高騰の影響を受けているため」「新型コロナウイルス感染症の影響を受けているため」といった声が多数寄せられた。

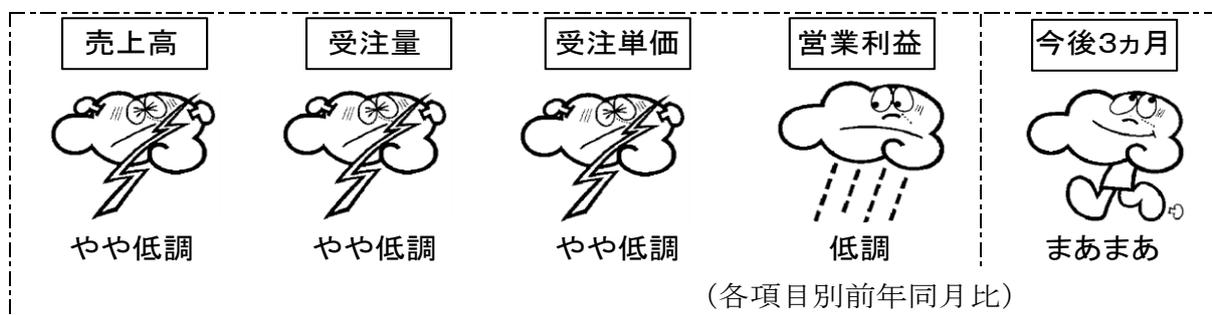


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 25.0	22.2	▲ 4.5	15.8	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 10.5
受注量	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 5.3	▲ 38.9	▲ 31.5	▲ 42.9	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 15.8	▲ 31.6	▲ 5.3
受注単価	▲ 10.0	▲ 5.6	▲ 9.1	5.3	▲ 11.1	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 10.0	10.5	▲ 4.7	5.3	▲ 10.5	▲ 5.3
営業利益	▲ 30.0	5.6	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 31.6	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 21.0
見通し	5.0	11.1	▲ 4.5	▲ 5.3	▲ 5.5	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 5.0	0.0	▲ 4.7	10.5	0.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

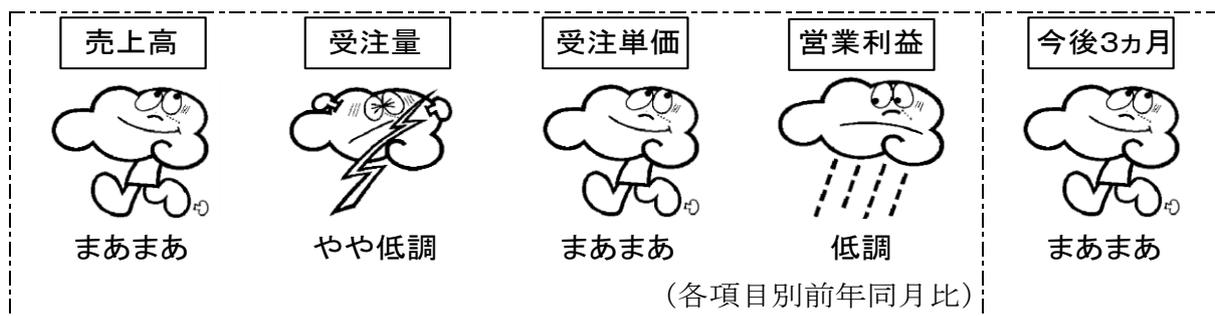
土木工事

- ・第三四半期の工事受注に不安がある。
- ・ウッドショック、円安から国産材の安定供給体制に舵を切る必要があると考えている。

電気工事

- ・官民共に工事件名が出ているかという、まだ十分ではない。新型コロナウイルス感染症の影響だとは思いますが皆が潤うにはまだ時間がかかりそうである。

2. 製造業



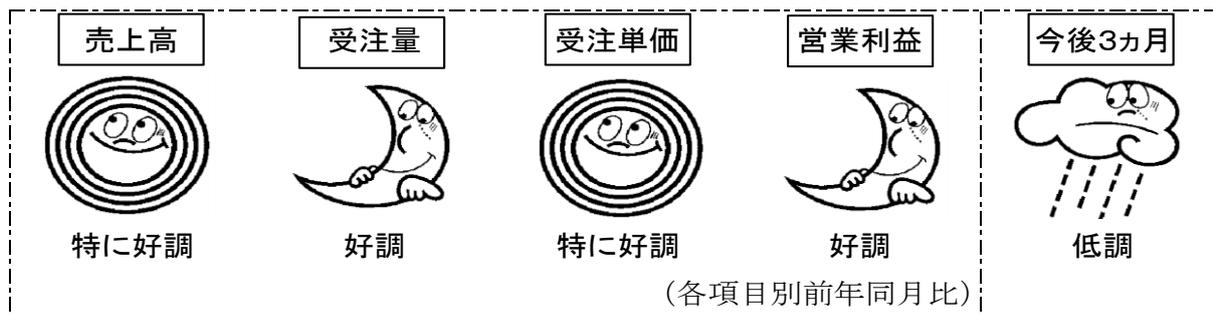
【項目別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	22.7	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 5.0	10.5	▲ 52.7	0.0	▲ 16.6	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5	5.9
受注量	9.1	4.6	10.0	▲ 5.2	▲ 10.0	5.2	▲ 47.4	5.5	▲ 22.2	10.0	11.1	▲ 25.0	▲ 11.7
受注単価	▲ 9.1	▲ 9.1	5.0	5.3	▲ 5.0	▲ 10.5	▲ 21.0	▲ 5.5	11.1	5.0	16.7	6.2	11.7
営業利益	4.5	▲ 4.5	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 35.0	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1	▲ 44.5	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 23.6
見通し	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 20.0	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 15.8	5.3	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 5.0	5.5	▲ 12.5	5.8

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|----------|--|
| 精密機器組立 | ・相変わらず、部品の入荷状況は良くないが一部に改善の動きが見受けられる。まだまだ厳しいが、引き合いはあるので今後に期待したい。 |
| 小型情報機器組立 | ・部品の調達がまだまだ大変である。電気代の高騰で、経費が前年度の倍かかっている。 |
| 印刷 | ・印刷用紙の二段階値上げなどの状況から、再版受注しても、用紙の金額を確認し(価格転嫁)値上げを交渉せざるを得ないが、その交渉が難航し、拒否案件も発生している。 |
| 金属塗装 | ・弊社では電気、ガス、灯油を多く使用するため仕入高以上に海外情勢に左右されるところがある。 |
| 食品・飲料 | ・8月は大抵のイベントが行われ経済も上向きであった。その結果後半には新型コロナウイルス感染症拡大とともに客足がかなり落ちていった。経済か、感染対策か、両立は難しい。今後も経済は良い悪い、の繰り返しになると思うがこのサイクルからはいつ抜け出せるのであろうか。 |
| 清酒製造業 | ・10月1日より値上げを実施する予定である。 |

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 25.0	0.0	7.7	9.1	8.3	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4
販売客数	▲ 16.6	▲ 25.0	7.7	9.1	▲ 16.7	10.0	▲ 10.0	7.7	18.2	7.7	16.7	▲ 27.3	16.7
販売客単価	▲ 8.3	0.0	23.1	36.4	8.3	40.0	20.0	30.8	36.4	38.5	41.7	9.1	41.7
営業利益	▲ 16.7	0.0	7.7	▲ 9.1	0.0	30.0	0.0	▲ 7.7	27.3	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1	25.0
見通し	▲ 16.7	16.7	7.7	▲ 9.1	▲ 25.0	0.0	10.0	0.0	▲ 9.1	0.0	8.4	▲ 18.2	▲ 16.7

<経営者の目・見方・e t c>

青果

・野菜、果実ともに昨年に比べて単価高であり、消費者動向を見ると財布の紐が固いイメージである。盆明けからぶどうの出荷が増加しており期待したい。加えて秋の味覚松茸の動きも気になる。

青果卸小売業

・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響が今なおある。気温の影響もあり来店客数が減っている。異常気象の影響で野菜が取れずさらに輸送コストの高騰で野菜の値段がどんどん上がってきている。悪いニュースばかりで気が滅入ってしまう。

魚介類

・得意先である飲食店や宿泊施設での宴会が会社で規制されたままご予約が入らない。

業務用食品

・外食ルート(観光地)の売上構成比は少ないが、行動制限がなかったのので昨年より人が動き、売上前年比140%となった。

土産品

・夏休み期間中多くの観光客が訪れ久しぶりの賑わいを感じた8月であった。売上も対昨年比300%と好調に推移している。

金属製品

・スクラップ価格の下落もあり、一部電炉は契約単価ダウンの提示があった。一方高炉材は以前強気姿勢は変わらず温度差が見られる。秋口になって自動車の回復や建築案件が、どの程度回復してくるかによって更なる価格変動が予想され未だに不透明である。

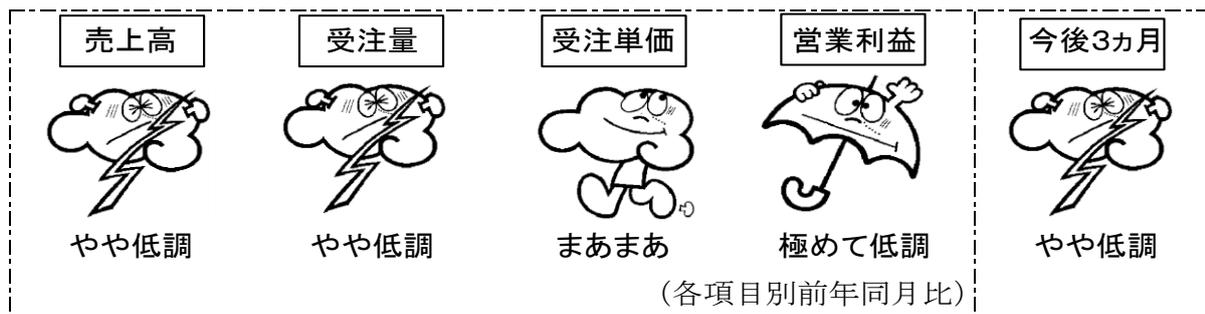
自転車

・仕入価格の高騰が止まらない。仕入先からは来年1月の価格改定予定まで連絡が来ている。また、商品の入荷が遅れている。

機械工具

・営業活動を行う上でのコスト上昇が続いている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 48.2	▲ 45.9	20.9	13.0	9.1	4.4	▲ 28.0	4.2	4.5	26.1	▲ 3.9	0.0	▲ 9.5
販売客数	▲ 44.5	▲ 50.0	8.3	13.1	0.0	▲ 4.4	▲ 32.0	▲ 4.2	4.6	17.4	▲ 15.4	▲ 33.3	▲ 9.6
販売客単価	▲ 29.6	▲ 20.9	4.2	▲ 13.1	27.3	0.0	4.0	16.7	0.0	8.7	▲ 11.5	▲ 11.1	4.8
営業利益	▲ 37.0	▲ 50.0	4.2	4.3	0.0	0.0	▲ 16.0	4.1	0.0	8.7	▲ 23.1	▲ 27.8	▲ 42.9
見通し	▲ 14.8	0.0	12.5	▲ 8.7	▲ 27.3	4.3	▲ 12.0	0.0	4.6	8.7	▲ 11.5	▲ 27.7	▲ 9.5

<経営者の目・見方・etc>

印章・刃物研ぎ

洋菓子店

和菓子

生鮮食品

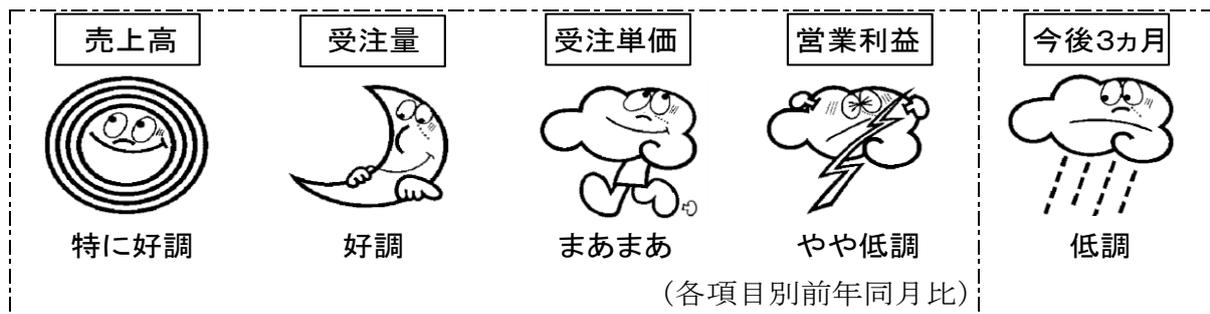
パン

手芸材料

化粧品

- ・各種材料の価格の値上げが続き商売が厳しい。
- ・客足は去年とほとんど変わらないが、原材料高騰によりほとんどの商品を値上げした。今後数カ月様子を見たい。
- ・お盆中よりもその前の山の日前後の動きがよかった。
- ・8月はお盆まで人の流れも多く、昨年よりも売上の伸びが良かった。レジ袋ばかりではなくプラスチック類の値上がりが多く、考えなくてはならないと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の自粛ムードもかなり下火になり観光客の動きが良くなってきた。登山や山への観光が強いのか、上高地、安曇方面からの注文がかなり増えた。
- ・OMFが開催されたのは嬉しいことだが、まだ感染対策のためかお城周辺以外は観光客が多くなかったようであった。
- ・地元客の来街が少なく、平日は特に少ない。土、日、祭日は観光客の恩恵で幾分街が賑やかに見える。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 82.4	▲ 61.1	▲ 17.6	5.3	16.6	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4
販売客数	▲ 76.5	▲ 66.7	▲ 23.5	10.5	16.6	▲ 62.5	▲ 86.7	▲ 35.3	7.2	0.0	11.8	11.8	20.0
販売客単価	▲ 52.9	▲ 44.4	▲ 29.4	▲ 10.5	5.5	▲ 37.5	▲ 53.3	▲ 35.3	▲ 7.2	0.0	▲ 5.9	▲ 11.7	6.7
営業利益	▲ 82.4	▲ 66.7	▲ 29.4	▲ 21.0	16.6	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.3
見通し	▲ 29.4	0.0	5.9	▲ 5.2	▲ 33.3	▲ 43.8	13.3	11.8	7.2	7.1	11.8	▲ 11.8	▲ 20.0

<経営者の目・見方・etc>

料理

- ・観光客の増加によりコロナ禍前の売上に戻った。地元客、商用客の回復があれば営業の安定化に繋がると思う。
- ・観光客の出足が良く、昨年と比べても良いがコロナ禍以前と比べると8割までしか回復していない。

創作料理

- ・急激に増え続けたBA.5の感染拡大により予約の取り消しが相次いでいる。お盆を迎え仕出しの受注を期待したが帰省を取りやめた方々も多く、ここ2年と同様商売にならなかった。この先感染が減少傾向になったとしても回復には時間がかかるのではないかと先行きが不透明である。今日も予約の電話は鳴らず、今後に不安を覚えている。

そば

- ・外出制限のない3年ぶりの活気のある8月を迎えることができた。しかし、夜の宴会がなく、食材等の値上がりや人手不足などの課題もある。

寿司

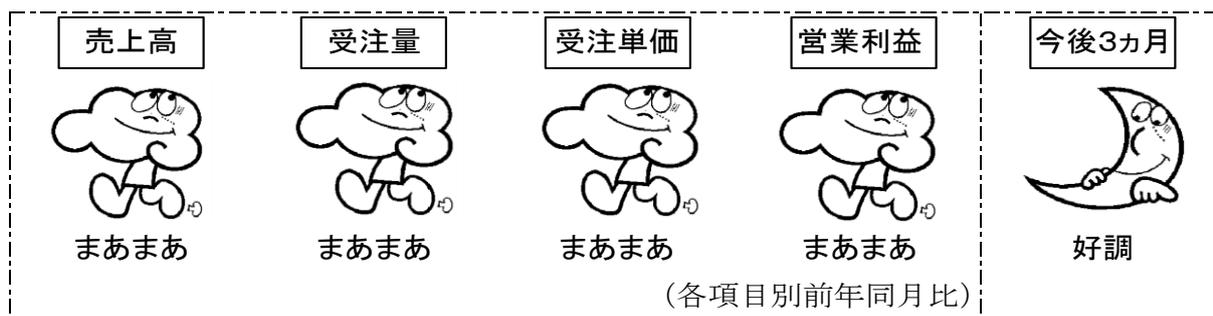
- ・8月はイベントが中止されることもあまりなく、経済も上向きであった。その結果月の後半には新型コロナウイルス感染症の拡大と共に客足がかなり落ちてしまった。感染対策と経済を回すことの両立は難しい。このような状況の繰り返しになると思うがいつこのループから抜け出せるのだろうか。
- ・松本市外のお客様の予約が多少増えている。そのため営業的には現状維持のままである。また、仕入に関して、円高や物価高騰の影響を受けている。

食堂

- ・新型コロナウイルス感染症に対する制限や規制がないので人の流れが活発化しているように見えた。来店客数も予約も増えたが、8月の後半に第7波などの影響がありキャンセルかテイクアウトに変わり、コロナ禍以前に戻るにはまだ時間がかかりそうである。
- ・新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大が続き来店客数は減少気味である。お盆休みは行動制限がなかったせいイオンモール周辺は人出が多く賑やかであった。

・8月になり、夏休みの子供連れが多く来店した。2年ぶりのことである。今年では行動制限がないので、三世代での家族連れが久しぶりに多かった。だが、新型コロナウイルス感染症の新規感染者の増加で宴会や会合の申し込みはない。お盆の賑わいも3年ぶりだったが、この先どうなっていくのか不透明である。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.5	▲ 7.1	▲ 2.5	0.0	▲ 12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5
販売客数	▲ 22.5	▲ 17.5	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 10.0	4.7	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 2.5	11.9	7.4	2.4	7.5
販売客単価	▲ 7.5	▲ 10.0	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 12.5	▲ 2.3	▲ 14.3	0.0	0.0	0.0	7.3	▲ 2.4	2.5
営業利益	▲ 22.5	▲ 20.0	▲ 20.4	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 4.7	▲ 31.0	2.4	▲ 12.5	7.1	2.4	▲ 2.4	0.0
見通し	▲ 7.5	10.0	▲ 13.7	▲ 7.2	▲ 17.5	▲ 20.9	2.3	2.5	15.0	9.6	4.9	7.1	15.0

<経営者の目・見方・e t c>

旅館

・前年よりは売上が増加しているがまだコロナ禍以前の水準までは回復していない。

・予約が入っても天気や新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが通常より多かった。

温泉旅館

・新型コロナウイルス感染症も一段落した感がある。スポーツや観光もコロナ禍以前に戻りつつあるように感じる。松本も多くのイベントが開催されて良かった。しかし、9月以降はどうか心配である。

観光旅館

・7月に比べ、天候は悪かったものの昨年のお盆ほどではなく出控えていたお客様が戻ってきた感触があった。しかし、新型コロナウイルス感染者数は高止まりをしており不安を覚えている。信州割SPECIALが9月に良い影響を与えてくれることを期待している。食材や燃料など、すべての物価が上がってきているがすでにご予約をいただいているので、値上げは出来ない。10月から11月は海外からの個人のお客様の予約が入ってきているが、これもどうなるのか不安である。

宿泊

・新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続いているが、旅行需要がある程度戻ってきているので期待している。さらに影響が落ち着けばより需要が高まるのでさらに期待している。

ホテル

・宿泊は2019年の約80%まで戻った。宴会は低調である。会議のみの利用で飲食がつかない。

ホームクリーニング・リネンサプライ業

機械設計

測量設計

自動車整備・板金塗装

タクシー

- ・OMFが開催され、行動制限のない8月であった。少しずつコロナ禍以前に戻ってきているように感じる。
- ・リネンサプライにおいて、観光の回復により順調に推移した。工場における生産が人手不足で追いついていかない状況である。
- ・受注はあるが部品の入手に時間がかかるので製作にかかる時間が長くなってしまっている。受注時には数カ月で受け付けたものが1年計画になってしまう。
- ・職員が新型コロナウイルス感染症になり業務への影響が出た。新型コロナウイルス感染症がかなり身近まで迫っていることを改めて実感した。
- ・新型コロナウイルス感染症が拡大しており身近なところまで迫ってきているのを感じる。最近は何の値上がりも多く客足も遠のく状態である。このまま物価上昇やエネルギーのコスト増大が続くと今後の景気上昇の足を引っ張ることになりそうで不安である。8月は休みも多く先行きが心配である。
- ・夏休みや盆休みがあり、輸送人口は増えた。観光客も前月より増加し売上は上がってきた。